

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

2022年度診療報酬改定 周術期薬剤管理加算

作成：日医工株式会社（公社）日本医薬経営コンサルタント協会認定 登録番号第4828号 長岡俊広

参考資料：2022年3月4日 「診療報酬の算定方法の一部を改正する件（告示）別表第一 医科点数表」
 2022年3月4日 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について（通知）別添 1 医科点数表」
 2022年3月4日 「特掲診療料の施設基準等の一部を改正する件（告示）」
 2022年3月4日 「特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（通知）」
 2022年度診療報酬 疑義解釈（その1～その28）

凡例

通知等

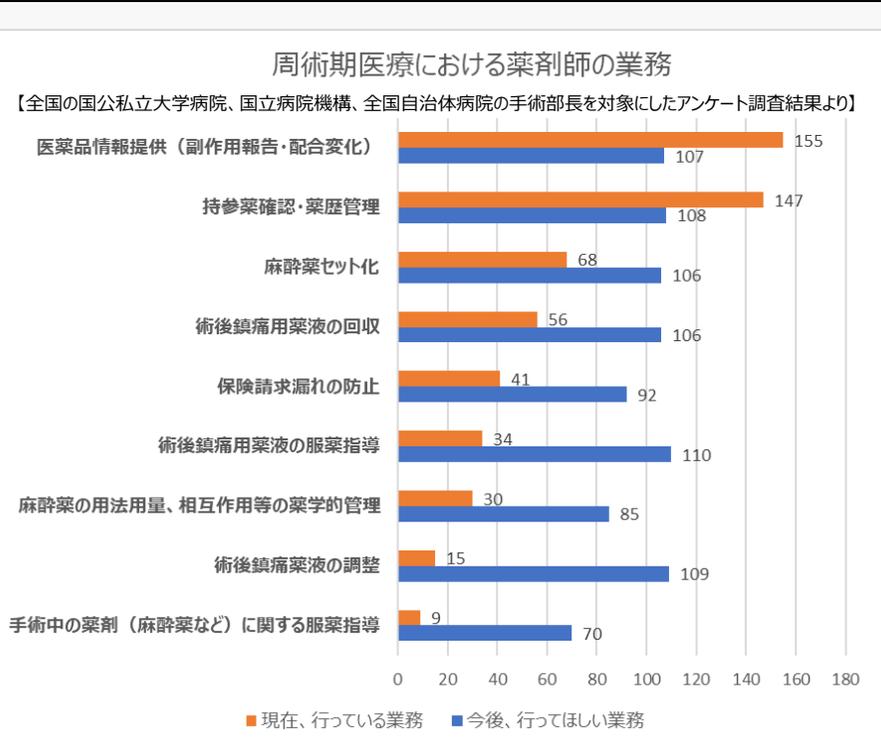
疑義解釈

MPSコメント

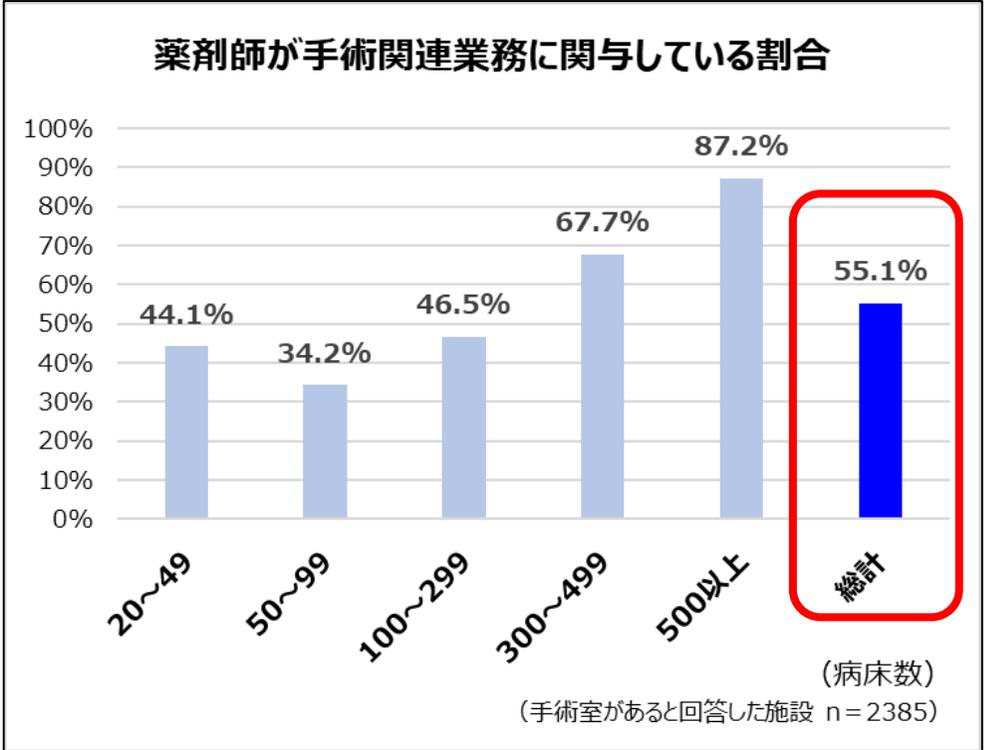
資料No.20221018-2018

本資料は、2022年9月27日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

①周術期において、手術部長が薬剤師に介入を求めている業務が多岐にわたっていると報告されました



②手術室があると回答した施設のうち、全体の5割以上の病院で薬剤師が関与していました



厚労省から通知された「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」では周術期における薬剤管理等の薬剤に関連する業務として、以下に掲げる業務については、薬剤師を積極的に活用することが考えられるとまとめられました

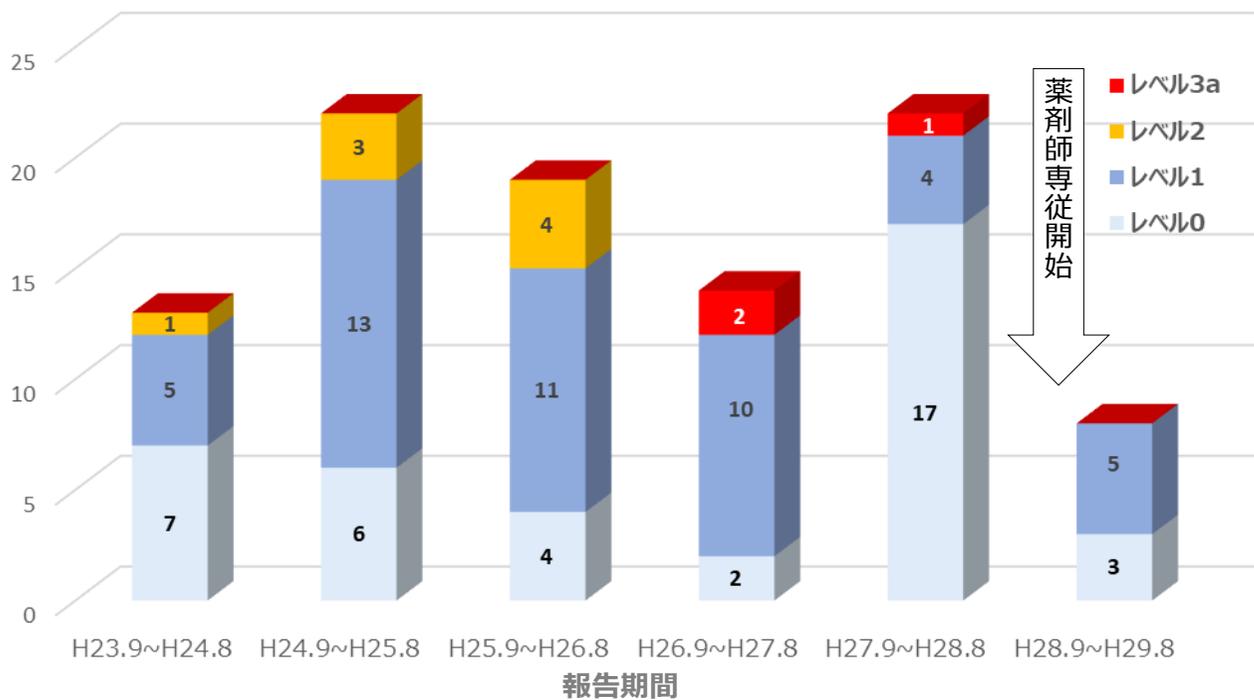
- ア 手術前における、患者の服用中の薬剤、アレルギー歴及び副作用歴等の確認、術前中止薬の患者への説明、医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づく術中使用薬剤の処方オーダーの代行入力（※）、医師による処方後の払出し
- イ 手術中における、麻酔薬等の投与量のダブルチェック、鎮痛薬等の調製
- ウ 手術後における、患者の状態を踏まえた鎮痛薬等の投与量・投与期間の提案、術前中止薬の再開の確認等の周術期の薬学的管理

【出典】中医協総会 令和3年12月8日 個別事項(その8)より抜粋し、日医工が編集

本資料は、2022年9月27日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

③手術室における薬剤師の専従開始後、薬品関連のインシデント・アクシデント報告件数が減少したことから、新たに薬剤師の介入を評価した周術期薬剤管理加算が新設されました

手術室における薬品関連のインシデント・アクシデント報告の推移



薬剤師専従開始

【介入】

平日午前8時30分～午後5時の終日（昼休憩1時間を除く）
 担当薬剤師1名がローテーションにより手術室に専従し、主に①～④の業務を行った。
 ①麻薬管理業務
 ②毒薬・向精神薬・血液製剤管理業務
 ③その他の薬品の定数薬品管理業務
 ④薬学的管理業務

【方法】

薬剤師専従前5年間と、専従後の1年間の手術室における薬品関連のインシデント・アクシデント報告件数と報告事例を比較

- レベル0 間違ったことが発生したが、患者には実施されなかった
- レベル1 間違ったことを実施したが、患者には変化が生じなかった
- レベル2 事故により患者への継続的な観察の強化が必要
- レベル3a 簡単な処置や治療を要した

【出典】日江井和英他 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院薬剤部 1, 看護部2, 麻酔科3, 外科4 地方中核病院における手術室専従薬剤師業務の取り組みとアンケート調査結果 Vol.54No.12 2018日本病院薬剤師会雑誌

・薬剤師の周術期における薬学的管理に対して、麻酔管理料の下に周術期薬剤管理加算が新設されました

麻酔	分類・加算	施設基準	点数
麻酔管理料(Ⅰ)	1.硬膜外麻酔又は脊椎麻酔を行った場合		250点
	↳帝王切開術時麻酔科加算		700点
	2.マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を行った場合		1,050点
	↳周術期薬剤管理加算	専任薬剤師の配置、病棟薬剤業務実施加算1の届出	75点
↳長時間麻酔管理加算			7,500点
麻酔管理料(Ⅱ)	1.硬膜外麻酔又は脊椎麻酔を行った場合		150点
	2.マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を行った場合		450点
	↳周術期薬剤管理加算	専任薬剤師の配置、病棟薬剤業務実施加算1の届出	75点



本資料は、2022年9月27日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

プロトコルの整備



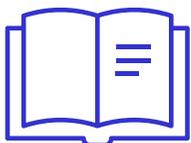
周術期薬剤管理に関するプロトコルを整備

定期的なプロトコルの見直し

【2022年3月31日疑義解釈その1】

「周術期薬剤管理に関するプロトコル」と「薬剤の安全使用に関する手順書」は、「周術期薬剤管理」及び「医薬品の安全使用や、重複投与・相互作用・アレルギーのリスクを回避するための手順等」が盛り込まれた内容であれば同一のものでも差し支えない。

手順書の整備



薬剤の安全使用に関する
手順書（マニュアル）の整備

- ・医薬品の安全使用
- ・重複投与・相互作用・アレルギーのリスクを回避するための手順



必要に応じて

連携



当直薬剤師

周術期薬剤管理加算
の施設基準における専任の薬剤師

カンファレンス開催と情報共有



周術期薬剤管理加算の
施設基準における
専任の薬剤師

周術期薬剤管理における
問題点等の情報を共有

周術期薬剤管理を実施するにつき
必要な情報を提供



病棟薬剤業務実施加算の
施設基準における
専任の薬剤師

必要に応じカンファレンス



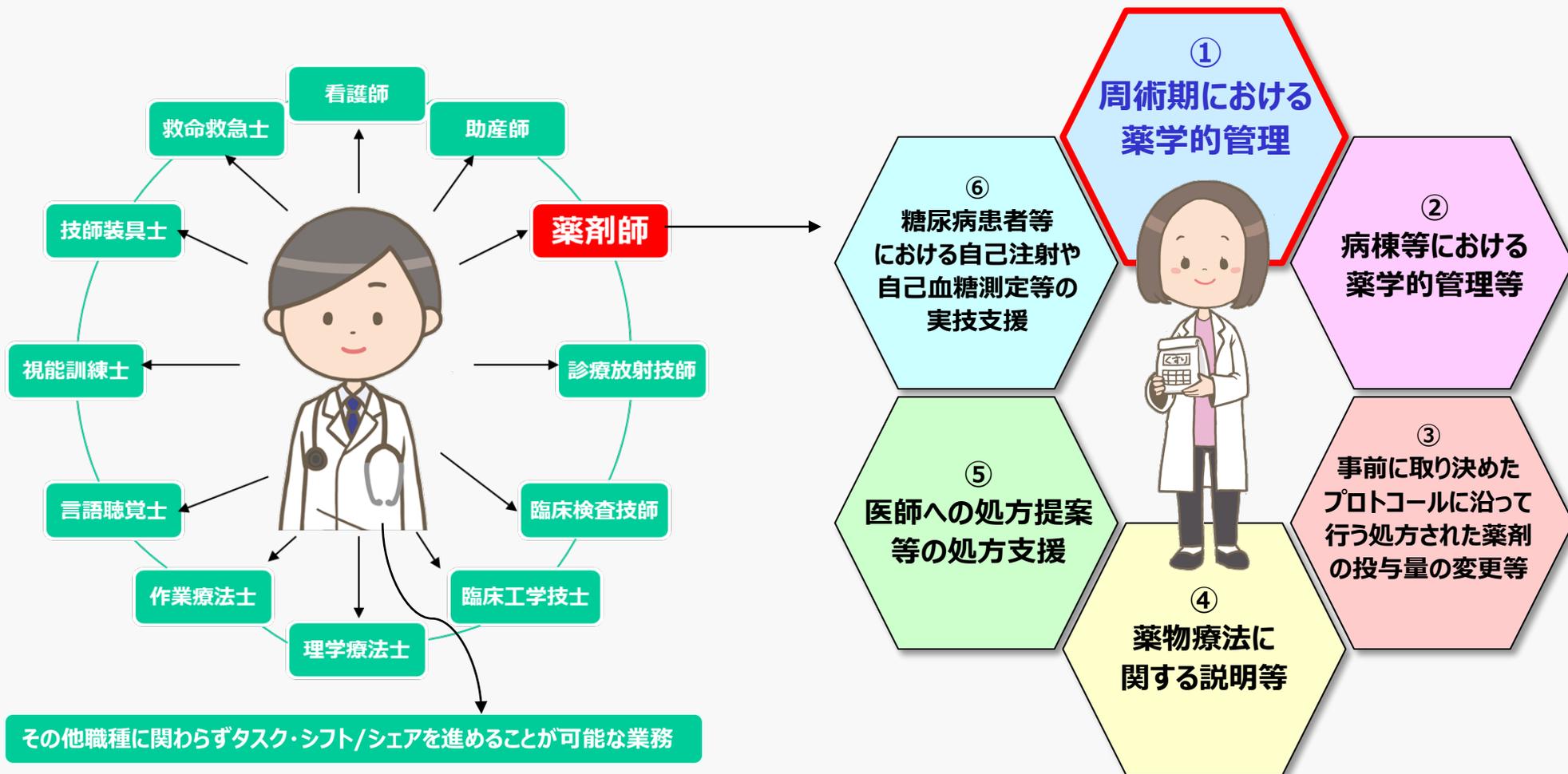
医薬品情報管理室の
薬剤師

【2022年3月31日疑義解釈その1】

当直の薬剤師が周術期に必要な薬学的管理を行った場合でも、当該加算は算定可能。ただし、周術期薬剤管理加算の施設基準における専任の薬剤師と連携した上で実施する。

現行制度において薬剤師が実施可能な範囲における タスク・シフト/シェアの推進について

周術期薬剤管理加算では「現行制度において薬剤師が実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」に薬剤師に期待されている業務のうち、①周術期における薬学的管理の内容が求められることになりました



2021年9月30日 厚生労働省医政局長通知「現行制度において薬剤師が実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」より日医工MPSグループにより編集

3-(3)①周術期における薬学的管理

・算定要件では「現行制度において薬剤師が実施可能な範囲における範囲におけるタスクシフト/シェアの推進について」の中で、薬剤師として①周術期における薬学的管理」に基づき業務を実施することとされています

手術前

- 患者の服用中の薬剤、アレルギー歴及び副作用歴等の確認
- 術前中止薬の患者への説明
- 事前に取り決めたプロトコールに基づく術中使用薬剤の処方オーダーの代行入力
- 医師による処方後の払出し



手術中

- ・麻酔薬等の投与量のダブルチェック
- ・鎮痛薬等の調製



手術後

- ・患者の状態を踏まえた鎮痛薬等の投与量・投与期間の提案
- ・術前中止薬の再開の確認等の周術期の薬学的管理



周術期の薬学的管理を行う薬剤師

連携



病棟薬剤師

診療録に記載



病棟薬剤師等と連携した周術期薬剤管理の実施に当たって

参考とする業務リスト【簡略版】

「根拠に基づいた周術期患者への薬学的管理ならびに手術室における薬剤師業務のチェックリスト」には、術前、術中、術後に分けて業務内容が明記されています

	①術前管理	②術中管理	③術後管理
区分	周術期の薬学的管理情報の収集と共有	医薬品の適正使用	周術期薬学的管理情報の収集および活用
	術前休止・継続対象薬の把握と休止・継続の指示および実施の確認	医薬品・劇物の適正管理	静脈血栓塞栓症の管理
	前投薬	術中の感染管理	循環器系障害
	アレルギー歴	緊急時の対応	急性腎障害
	サプリメント、健康食品、市販薬	注射薬調整	抗菌薬
	腎機能		術後疼痛管理
	術前の感染管理		術後悪心・嘔吐 (Postoperative Nausea and Vomiting)
	ステロイド使用と補充療法		術後せん妄、認知機能障害
	麻酔方法の確認と合併症の予防		排尿障害・排便障害
	術後回復能力強化 (Enhanced Recovery After Surgery : ERAS)		栄養管理
	術後疼痛管理		電解質異常
術後せん妄・認知機能障害		ストレス潰瘍	

【出典】 一般社団法人 日本病院薬剤師会資料 根拠に基づいた周術期患者への薬学的管理並びに手術室における薬剤師業務のチェックリスト（2022年度版）より日医工が編集
日本病院薬剤師会ホームページURL <https://www.jshp.or.jp/cont/22/0901-4.html>

病棟薬剤師等と連携した周術期薬剤管理の実施に当たって 参考とする業務リスト（術前）【簡略版】

①術前管理			
区分	管理項目		
周術期の薬学的管理情報の収集と共有	かかりつけ医療機関、 かかりつけ薬局との連携	周術期薬学的管理情報の伝達、共有化	
術前休止・継続対象医薬品の把握と 休止・継続の指示および実施の確認	術前休止・継続対象医薬品の 使用状況の確認	術前休止・継続医薬品の 院内取決め作成	術前休止による血栓リスクを考慮し た管理計画の作成
	術前休止・継続対象医薬品の把握と 休止・継続の指示および実施の確認	術前休止・継続対象医薬品の 使用状況の確認	術前休止による血栓リスクを考慮し た管理計画の作成
術前休止・継続対象医薬品の把握と 休止・継続の指示および実施の確認	静脈血栓塞栓症 (Venous Thromboembolism : VTE) のリスクの適正な評価と予 防法の計画	血栓症リスクを有する医薬品の 把握と休止の確認	
	術前休止・継続対象医薬品の把握と 休止・継続の指示および実施の確認	静脈血栓塞栓症 (Venous Thromboembolism : VTE) のリスクの適正な評価と予 防法の計画	血栓症リスクを有する医薬品の 把握と休止の確認
前投薬	不安軽減に関する薬物療法	術後悪心・嘔吐 (Postoperative Nausea and Vomiting : PONV) のリスク評価と予防投与	
アレルギー歴	ラテックスアレルギーの把握	アルコールアレルギーと消毒薬の 対処法	造影剤アレルギーと対処法
	喘息（アスピリン喘息）と対処法	食物アレルギーと使用医薬品の 対処法	抗菌薬アレルギーと使用医薬品の 対処法
サプリメント、健康食品、市販薬	手術、麻酔に影響するサプリメント・健康食品・市販薬の把握		
腎機能	周術期の腎障害と危険因子の確認		
術前の感染管理	適正な抗菌薬の選択	抗菌薬の初回投与量とタイミングの確認、術中追加の投与設計	
ステロイド使用と補充療法	ステロイドカバーの実施の有無と使用計画の確認、投与時の注意事項の確認と対処		
麻酔方法の確認と合併症の予防	脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔の確認		神経ブロックの確認
術後回復能力強化(Enhanced Recovery After Surgery : ERAS)	術前体液管理と経口補水療法 (Oral Rehydration Therapy : ORT)、絶飲食時間の確認		
術後疼痛管理	術後鎮痛計画と患者への説明		
術後せん妄・認知機能障害	術後せん妄のリスクの評価・予測・予防		

【出典】 一般社団法人 日本病院薬剤師会資料 根拠に基づいた周術期患者への薬学的管理並びに手術室における薬剤師業務のチェックリスト（2022年度版）より日医工が編集
日本病院薬剤師会ホームページURL <https://www.jshp.or.jp/cont/22/0901-4.html>

病棟薬剤師等と連携した周術期薬剤管理の実施に当たって 参考とする業務リスト（術中）【簡略版】

②術中管理						
区分	管理項目					
医薬品の適正使用	注射ルートに関する使用指針の作成及び活用		麻酔記録と使用医薬品の確認照合		医療安全や適正使用に関する医薬品情報の伝達	
医薬品・劇物の適正管理	麻薬	毒薬	向精神薬	習慣性医薬品	特定生物由来製品	吸入麻酔薬
	ハイリスク薬	院内製剤	劇物	消毒薬	適正な医薬品管理	
術中の感染管理	長時間手術時の追加投与		大量出血時の投与			
緊急時の対応	悪性高熱発生時の準備	局所麻酔中毒時の準備	心肺停止時のバックアップの準備	アナフィラキシーショック時の準備	シバリング発生時の準備	大量出血時の連携体制
	災害時の手術部門における薬剤師の役割の把握					
注射薬調製	注射薬の調整と適正使用		術後鎮痛薬の調整と適正使用			

【出典】 一般社団法人 日本病院薬剤師会資料 根拠に基づいた周術期患者への薬学的管理並びに手術室における薬剤師業務のチェックリスト（2022年度版）より日医工が編集
日本病院薬剤師会ホームページURL <https://www.jshp.or.jp/cont/22/0901-4.html>

病棟薬剤師等と連携した周術期薬剤管理の実施に当たって 参考とする業務リスト（術後）【簡略版】

③術後管理				
区分	管理項目			
周術期薬学的管理情報の収集および活用	術式・麻酔方法変更、術中有害事象情報の収集	覚醒遅延の確認	シバリングを誘因する可能性がある医薬品と、その予防、治療対策の準備	術前休止薬の再開への関与
静脈血栓塞栓症の管理	静脈血栓塞栓症の治療			
循環器系障害	血圧の把握	不整脈・心筋虚血の把握		
急性腎障害	急性腎障害の治療・管理			
抗菌薬	手術部位感染予防抗菌薬の適正使用の確認	術後感染の有無の確認と術後感染時の治療計画の立案	術後感染時治療薬の効果、副作用の確認	
術後疼痛管理	術後鎮痛薬の効果および副作用の評価と対処		術後鎮痛法や麻酔の手技による合併症の評価と対処	
術後悪心・嘔吐 Postoperative Nausea and Vomiting : PONV)	PONVの治療			
術後せん妄、認知機能障害	せん妄に対する薬物療法の検討と禁忌の確認			
排尿障害・排便障害	排尿障害の確認と被疑薬の検索		排便障害の確認と治療薬の提案	
栄養管理	栄養開始の確認	血糖管理		
電解質異常	電解質の補正			
ストレス潰瘍	ストレス潰瘍予防			

【出典】 一般社団法人 日本病院薬剤師会資料 根拠に基づいた周術期患者への薬学的管理並びに手術室における薬剤師業務のチェックリスト（2022年度版）より日医工が編集
日本病院薬剤師会ホームページURL <https://www.jshp.or.jp/cont/22/0901-4.html>

- 病院薬剤師が周術期業務に関与することにより、薬品関連のインシデント・アクシデント報告件数が減少しています
- 手術室があると回答した施設のうち、全体の5割以上の病院が薬剤師が関与していました
- 薬剤師の周術期における薬学的管理に対して、周術期薬剤管理加算が新設されました
- 薬剤師による周術期における業務の内容が明確に示されました
- 施設基準に専任薬剤師の配置とともに病棟薬剤業務実施加算 1 の届出が盛り込まれ、医師のタスクシェアにおいては、病棟以外の薬剤師業務にも期待が寄せられています。



日医工がお届けする **Stu-GE** は、
医療従事者の方のための医療行政情報サイトです。

ご覧頂ける
テーマ別
情報一覧

- 診療報酬改定関連の速報情報
- 診療報酬点数の施設基準や算定要件の情報
- 調剤報酬全点数情報
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の施設基準
- DPC/PDPS関連 新規薬価収載に係る包括評価対象外薬剤一覧
DPC公開データを用いた各種医療圏分析
- その他医療制度に関する情報

会員登録は、**無料**

いますぐ、会員登録サイトで登録を!!

会員特典1 → メールマガジンの受信

会員特典2 → 会員限定コンテンツの閲覧

スマートフォンで簡単登録



パソコン画面で入力

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/registrations/index>